

令和2年5月27日

保護者 様

笠松町立笠松中学校  
校長 伊藤 直輝

### 学校再開における新型コロナウイルス感染予防対策について

万緑の候、保護者の皆様方におかれまして益々御清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に格別の御協力・御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、見出しの件について、下記の通り対策をしていきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

#### 記

- ねらい 新型コロナウイルス感染予防のため、3密（密閉・密集・密接）を避け、ソーシャルディスタンスを保って安心・安全な学校生活を送ることができるようにする。
- 内 容 ①全校集会（放送による）を利用して、新型コロナウイルス感染症についての知識、手洗いや咳エチケット、抵抗力を高めることの重要性等について、全校生徒に指導を徹底する。  
②家庭で毎日検温をするとともに、それを「健康チェックカード」に記録し毎日提出する。  
③登校時から下校時まで、マスクを着用する。  
④常時一部の窓を開けておくとともに、1時間に1回、窓を全開にして換気を行う。  
⑤休み時間は基本的に自席で過ごすこととし、大きな声での会話をしないようにする。  
⑥授業時は、小集団やペアでの話し合い活動は行わず、班隊形をとらない。  
⑦全校を体育館使用クラスと校舎使用クラスとに分け、分散して使用していく。（詳細は裏面）  
・2，3年生は体育館2階で、1年生は体育館1階で、学年の半分のクラスが授業を行い、その他のクラスは校舎内で2教室に分かれて授業を行います。  
・どの部屋で過ごす生徒も自分の机を使用する。  
・使用クラスは校舎内と体育館の使用を2週間交替とする。  
・下足箱について、校舎使用クラスは従来の下足箱を使用し、2，3年生の体育館使用クラスは2階アリーナ廊下にあるロッカーを使用、1年生の体育館使用クラスは体育館1階玄関の下足箱を使用することとする。  
・授業について、校舎使用クラスは黒板やスクリーン、Zoom回線を利用しながら、同時進行で遠隔授業を行い、体育館使用クラスは1つのクラスで一斉学習を行う。  
・登下校も含めて体操服での生活を可とする。  
⑧給食前の手洗い，うがい，消毒を確実に行う。また，給食当番以外の生徒は手洗い終了後，自席で静かに待機する。全員前を向いて食事を行う。  
⑨清掃時は，密集しないよう場所に応じて分担を工夫する。また，人が多く手を触れる場所は清掃中に消毒を行う。  
⑩下校時は密集しないよう，はじめに徒歩通学生徒が下校し，自転車通学者は1／3ずつの生徒が5分毎に分散下校とする。

## <教室の分散利用>

### 第1, 2週目

#### 体育館2階

北東2-2  
北西2-4  
南東3-1  
南西3-3

#### 体育館1階

北側1-6  
中央1-4  
南側1-2

#### 校舎4階

1-1教室：1-1の半分  
1-2教室：1-1の半分  
1-3教室：1-3の半分  
1-4教室：1-3の半分  
1-5教室：1-5の半分  
1-6教室：1-5の半分

#### 校舎3階

3-1教室：3-2の半分  
3-2教室：3-2の半分  
2-1教室：2-1の半分  
2-2教室：2-1の半分  
2-3教室：2-3の半分  
2-4教室：2-5の半分  
2-5教室：2-5の半分  
2年活動室：2-3の半分

#### 校舎2階

3-3教室：3-4の半分  
3-4教室：3-4の半分  
3-5教室：3-5の半分  
被服室：3-5の半分

### 第3, 4週目

#### 体育館2階

北東2-5  
北西2-1  
南東3-2  
南西3-4

#### 体育館1階

北側1-5  
中央1-3  
南側1-1

#### 校舎4階

1-1教室：1-2の半分  
1-2教室：1-2の半分  
1-3教室：1-4の半分  
1-4教室：1-4の半分  
1-5教室：1-6の半分  
1-6教室：1-6の半分

#### 校舎3階

3-1教室：3-1の半分  
3-2教室：3-1の半分  
2-1教室：2-2の半分  
2-2教室：2-2の半分  
2-3教室：2-3の半分  
2-4教室：2-4の半分  
2-5教室：2-4の半分  
2年活動室：2-3の半分

#### 校舎2階

3-3教室：3-3の半分  
3-4教室：3-3の半分  
3-5教室：3-5の半分  
被服室：3-5の半分

## <日常生活における注意事項>

### 登下校

- 登校時、健康チェックを行います。あらかじめ「健康チェックカード」（体温、健康状態を記入し保護者印を押したもの）の記入をしておいてください。以下の場合、登校を控えてください。
  - ・平熱を超える発熱
  - ・咳、のどの痛みなど風邪の症状
  - ・だるさ、息苦しさ
  - ・嗅覚や味覚の異常
  - ・体が重く感じる、疲れやすい 等
- 体温を測定していない生徒は、その場で検温し、上記の症状のないことを確認してから校舎に入ります。上記の症状などがある場合は、別室で待機し、保護者に連絡し、迎えに来てもらいます。
- 教室に入る前に、手洗い、うがいをし、手の消毒を行います。
- 学校生活では常にマスクを着用します。
- 登校後、発熱やかぜ症状が出た生徒は保健室では休養をせず、別室で待機するとともに、保護者に連絡し、迎えに来てもらいます。
- 下校は、はじめに徒歩通学生徒が下校し、自転車通学者は1／3ずつの生徒が5分毎に分散下校します。

### 学校生活

- 全員がソーシャルディスタンスを保って学習できるようにします。そのために各クラスでは1つの教室に入る人数が20人未満になるように、クラスを2つに分けて授業を行います。また、半数のクラスは体育館を使って授業を行います。
- 教室の両側の窓の一部は常時開けて風が通るようにします。1時間に1回は教室・廊下の窓を全開して換気します。
- 机の配置は全員が前を向くテスト隊形としイスを2m以上離して座ります。
- 小集団やペアでの話し合い活動は行いません。班で向かい合って座ることはありません。
- 教室の扉は常時開放し、多くの生徒の手が触れるものは毎日消毒します。（手すり、ドアノブ等）
- 教室に入るときは毎回、手洗いうがい、消毒をします。
- 休み時間もソーシャルディスタンスを保てるように生活します。（自席で静かに過ごす）

### 給食

- 給食前には、全員が手洗いうがい、うがいをします。
- エプロン、帽子、マスクをつけた給食当番のみで配膳します
- 当番の下痢、発熱、腹痛、嘔吐等の症状がないか確認します。
- 使用前に配膳台のふき取り、消毒を徹底します。
- 配膳を待つ間、当番以外もマスク着用し、必要のないものを触らないようにします。
- 全員、私語無しで前を向いて食事をし、食事が終わったらマスク着用します。
- 配膳された食べ物のやりとりはしません。
- 後片付けは移動する人数を制限して密接しないようにします。
- 後片付け後の配膳台はきれいにふき取り、消毒をします。

### 清掃




- 活動の前後に手洗いうがい、うがいをします。
- マスクを着用し、私語をしません。
- 密集しないように場所に応じた分担をします。
- 窓を全開にして換気をしながら行います。
- トイレ等のドアノブ、手すり、スイッチ等は消毒液で消毒します。

## <授業における注意事項>

全教科 共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が話をするを中心とする。(教師もマスクまたはフェイスシールドをする。)</li> <li>・生徒が発言をする場面では生徒から大きく離れて話をする。</li> <li>・校舎内での授業は、4隅で話すのではなくカメラの前に来て話す。</li> <li>・ペア学習やグループ学習など生徒同士が密着して声を出す場面は作らない。</li> <li>・座席は、隣同士の机を付けず、全員が前を向いて座る。</li> <li>・教室は、常に空気が入れ替わるように配慮する。特に、声を出す場合は必ず窓を開ける。1時間に一度すべての空気を入れ替える。</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読など声を出させることは、できるだけ控える。声を出すときは、窓を大きく開けるなどマイクロ飛沫感染への対策を十分に行う。</li> <li>・音読はマスクを付けて行う。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則は理科室を使わず教室で行う。(理科室机は向かい合わせになるため。)</li> <li>・生徒実験は極力行わず、演示実験とする。</li> <li>・ガスや大量の水を使うなどの演示実験は理科室で行うが、生徒は実験機の隅に離れるように黒板を向いて座る。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向かい合っでの会話は禁止する。</li> <li>・声を出すことはできるだけ控える。声を出すときは、窓を大きく開けるなどマイクロ飛沫感染への対策を十分に行う。</li> <li>・マスクを付けて、かつ社会的距離(SD)を確保して、会話(言語)活動をする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教室で鑑賞の授業を行うなどの単元の配列を工夫する。</li> <li>・声を出さなければならないときは音楽室で、窓を開け、できるだけ大きな輪になり間隔を十分にとるなどマイクロ飛沫感染への対策を十分に行う。</li> <li>・教室の時に半分は音楽室で器楽の学習をする。</li> <li>・学習内容は、鑑賞、器楽、創作を中心に行う。</li> </ul>
美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術室で活動してよいが、隣同士の机が離れるように配置する。</li> <li>・校舎内の普通教室(2教室)…フロアの水道を使って絵具の学習を行う。</li> <li>・体育館では、水道が必要ない授業を行うか、木工室・金工室を時間割変更で使う。(水道確保)</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール運動など生徒が接近する単元を避け、屋外で行う単元を行う。</li> <li>・屋外でも至近距離での会話を避ける。</li> <li>・授業前後に、手洗い、使用する器具の消毒を必ず行う。</li> <li>・活動中はマスクを外す。(集合するときはマスクを着用する)</li> </ul>
技術 家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明などは普通教室で行う。</li> <li>・製作は特別教室(木工室、金工室)を使うが、机の4隅で離れて作業を行う。</li> <li>・2mの距離が取れるように生徒の配置を考えて作業ができるようにする。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳隊形(コの字型)にはしない。</li> <li>・共感場面までは教師主導で行い、主発問のみ、生徒に十分考えさせる時間を確保し、記述してまとめる。(発表は教師、生徒共にマイクロ飛沫感染に配慮する)</li> </ul>
学活等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動は事前資料(動画等を含む)を準備し、できるだけ短時間で行う。</li> <li>・集会は学年集会までとし、十分に間隔をとって行う。</li> <li>・アリーナでの集会等は冷暖房が入っているときも必ず換気を行う。</li> </ul>

<その他、感染予防のための笠松中学校の取組>




<p>教室環境(校舎内)</p>	<p>教室環境(体育館)</p>	<p>パルスオキシメータ</p>
		
<p>教室を2つに分け、半分の人数で授業を行い、三密（密閉・密集・密接）を避けます。</p>	<p>体育館のフロアをシート等で分割し、広いスペースで授業を行います。</p>	<p>血中酸素濃度の測定により、肺炎等の症状について、確認できます。（学校医さんから推奨）</p>

<p>非接触型体温計</p>	<p>フェイスシールド</p>	<p>大型フロア扇風機</p>
		
<p>額に赤外線をあてることにより測定でき、登校時の体温測定が短時間でできます。</p>	<p>保健体育等、教師が運動場で大きな声で指示をする時に、飛沫感染を防ぎます。</p>	<p>休み時間に、短時間で教室内のすべての空気を短時間で入れ替えます。</p>

<p>職員室机列</p>	<p>消毒液の設置</p>	<p>遠隔授業</p>
		
<p>三密を避けるために、向かい合わないような机列とします。（教職員が率先して行動）</p>	<p>すべての教室に消毒液を設置し、確実に消毒が行えるようにしています。</p>	<p>2つの教室を Zoom を活用してオンラインで結び、遠隔で授業ができるようにしました。</p>

レバー式蛇口	SD(体育館ロビー)	扉の常時開放
		
手回し式からレバー式に工事を行い、直接手で触ることによる感染を予防します。	いすに間隔を空けて座るようにし、ソーシャルディスタンスを保ちます。	教室（体育館も含む）の扉を常時開放することで、生徒が触れないようにし感染を防ぎます。

感染症対策の掲示	屋外テントの設置(運動場)	トイレの並ぶ位置の表示
		
教室、手洗い場等に掲示（厚生労働省による）し、生徒に啓発をします。	感染症と熱中症の対策のため、保健体育等、二張のテントに広がって座ります。	トイレに並ぶ際、表示に合わせてソーシャルディスタンスを保てるようにします。

体操服での生活(常時可)	フェイスシールド(教室)	次亜塩素酸ナトリウムによる消毒
		
例年 WBGT（環境省）により、体操服での生活を可としましたが、感染症と熱中症の対策のため常時可としています。	教室で個別指導をする際に、全職員がフェイスシールドを活用しています。	常時開放できない扉のノブ等、複数の生徒が触れる箇所を次亜塩素酸ナトリウムにより確実に消毒します。